

# 「子どもに引き取られた親」をどう支援する？

	親の支援策	具体策
1	里帰りの応援	一人暮らしで認知症になり、息子に引き取られていった女性が「帰りたい、帰りたい」と泣くので、息子は2週に1度、母を里帰りさせていた。といっても、息子も一日中、母の相手をしているわけにいかない。そこで近隣の人たちが彼女の家でサロンを開いて、おつき合いしようということになった
2	老人クラブの協力で新しいクラブへ仲間入り	老人クラブは、メンバーが引っ越していく時、新しい土地のクラブに「そちらのクラブに仲間入りさせて下さい」とお願いする活動を全国展開している。おかげで、引っ越してすぐに地元のクラブからお誘いがかかり、「本当に助かった」と喜んでいる
3	「引っ越さなくて大丈夫」と支え続ける	本人と息子（娘）を説得して、地元で生き続けられるよう支援方策を考える。ケアマネジャーも参加して、必要なサービスも
4	サロンや趣味グループが里帰りの受け皿に	老人ホームの入所者を、サロンが開かれる日だけ受け入れる—という方法もある。これを子どもに引き取られた人にも適用することができるのでは？
5	住民が息子宅を訪問	遠くなければ、引き取られた先を隣人仲間が訪問するという方法もある。
6	息子が老親宅に同居、または近居のすすめ	息子が引き取るのではなく、息子が一人暮らしの親に同居または近居する方法。双方が近ければ、息子が通ったり、親が通ったりもできる